

がん対策530万人の署名が実現

～子宮頸(けい)がん、乳がん検診 無料クーポンを配布～



街頭演説の模様（上：笠栗 下：古賀青年局員）



本年初頭より展開してきました「がん対策強化」を求める署名活動。皆様のご協力により九州・沖縄で530万を超える署名を頂き、政府と県知事へ要望書と共に提出しました。

その結果、女性850万人を対象に子宮頸(けい)がん、乳がん検診のための「無料クーポン券」配布が決定しました。

前原市内でも4月12日筑前前原駅前にて街頭演説を実施。また公明党青年局が中心となり、丸田池公園にて「ワカモノのミカタ」街頭演説会を開催。街頭署名活動も行い、多くの方からの賛同と署名を頂きました。

今後も更なる「がん対策の強化」を目指し努力して参ります。



Vol. 22

平成21年6月6日発行
福岡県前原市前原中央
1丁目5-28-905
TEL:092-322-9150

がん対策署名530万人の声を 政府と県知事に届けました。 ご協力ありがとうございました。

実現へ 無料でがん検診 女性850万人対象に 無料クーポン券配布

無料クーポン券配布対象年齢

子宮頸がん／20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

乳がん／40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

公明党の太田昭宏代表、浜四津敏子代表代行、江田康幸衆議院議員、遠山清彦前参議院議員は5月1日、首相官邸に河村建夫房長官を訪ね、麻生太郎首相あての「がん対策の充実強化を求める要望書」と、九州・沖縄531万2152人の署名の一部を手渡しました。

太田代表は、男性、女性特有のがんが急増している状況を踏まえ、がん対策の更なる強化充実を要請。河村官房長官は「がん対策の強化に努めています」と述べました。

ご協力いただいた皆様の声を受け、公明党は本年度補正予算案に子宮頸がん、乳がん検診のための「無料クーポン券」配布を盛り込みました。

※現時点での無料クーポン券配布は2009年度限りとなっております。公明党は無料クーポン券配布の恒久化を政府に要望しています。



自発的に、がん検診を受ける流れづくりに期待。

公明党は、がん対策基本法の成立にも大いに貢献された医療に積極的な党であり、がん対策強化を求める署名を500万人以上も集めた結束力はまさに驚異的です。さらに血液検査(PSA検査)だけができる前立腺がん検査法のアピールは、社会啓発の一環として広くがんに対する意識の向上につながったと思います。しかし、新経済対策にある、乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン券は有難い半面、5年おきの無料の時しか検査を受けない人も多いのでは、という不安が残ります。がんは早期発見・早期治療が重要であり、無料でない4年間でも継続して検査を受けてもらう流れをつくることが大きな課題になりそうです。

今後も、与野党的の垣根を越えて医療の充実が図られるような橋渡しを公明党に期待しています。

党福岡本部も麻生渡・福岡県知事(前列、左端)に、がん対策強化を求める県内194万8879人の署名の一部を手渡しました。
(平成21年4月27日 県庁)

松本嶺男前原市長に「太陽光をはじめとする再生可能な新エネルギーの積極的な導入」を申し入れ

5月15日(金)前原市役所市長室において、前原市においてもスクールニューディール政策などが確実に事業化できるよう、松本嶺男市長に下記の申し入れを行いました。



1. 太陽光発電設備設置をはじめとするエコ改修を、学校施設などの公共施設で実施
2. 「クールアース・デー」(一斉消灯)運動の定着と環境意識の向上
3. 学校の校庭を芝生化することでの、地球温暖化防止及び子どもの豊かな教育環境づくり、また公園の芝生化で「はだしで遊べる公園」づくりの推進
4. 省エネ住宅・建築物の普及促進及び啓発
5. 公用車のハイブリッド化・省エネ化及び新エネルギーの導入促進
6. 糸島の地域性を考慮したバイオマスタウン構想の策定、バイオマスの変換・利用施設等の一体的な整備促進

黒田議員とともに
松本市長に要望書を渡す

「糸島デジタル・ミュージアム構想」や 高度な情報インフラの整備を要望

平成21年3月 定例議会報告

3月定例議会において、一般質問を行いました。
本議会で私が発言した内容を紹介します。
今回は紙面の都合により主な内容のみ掲載します。
それ以外の項目及び詳細については私のホームページに掲載しています。

(下段にホームページアドレスを表示しています)
(下段にホームページアドレスを表示しています)

「定額給付金」 支給にあたって



(問い合わせ) 単独所帯で長期入院中の方など、申請が困難な市民に対しては、どのような対策をとつていいのか。また、代理申請は誰が行えるのか。

(答える) 口座をお持ちでない方などに対しどのように行うのか。

(問い合わせ) 単独所帯で長期入院中の方など、申請が困難な市民に対しては、どのような対策をとつていいのか。また、代理申請は誰が行えるのか。

(答える) 口座をお持ちでない方に對しては、6月より府舎内に給付窓口を設置し、職員による窓口での現金支給を行つ。(課長答弁)

(問い合わせ) 商工業者の加盟促進は図られているか。また偽造対策は万全か。

(答える) プレミアム付商品券(ｅチケット)販売にあたり、商工業者の加盟促進は図られているか。また偽造対策は万全か。

(答える) 今回の定額給付の場合、単独世帯で長期入院で申請できない方に際しては、入院施設等の方の代理申請ができることとなつて

(問い合わせ) 入院施設等の方の代理申

請ができることがあります。(課長答弁)

(問い合わせ) 入院施設等の方の代理申

請ができることがあります。(課長答弁)

(問い合わせ)

新市「糸島市」誕生後は、人口は福岡県で7番目、面積では5番目の広さとなる。

また、九州大学移転により、学生・教職員が1万人となる。

「糸島デジタル・ミュージアム構想」の実現を



「なんでも前原商品券eチケット」が好評

いよいよ「定額給付金・子育て応援特別手当」が支給となりました。皆さんは何に利用されますか?

前原市でも、商工会より10%プレミアム付商品券「なんでも前原商品券eチケット」を販売しています。

このeチケットは、1万円で1万1,000円分(1,000円券11枚綴)が購入できるプレミアムが付いた商品券で、市内の取扱加盟店で利用することができます。

取扱加盟店は、「シール」または「のぼり旗」が目印です。前原市内で飲食店やスーパー、薬局など400を超えるお店で利用できます。

1億2,000万円分発行しましたが、わずか半月で完売のこと。

元気な前原づくりに大きく貢献します。ご購入頂きありがとうございました。お問合せは商工会館(Tel322-3535)へ。



ご協力いただくお店に掲げられるのぼり旗

(答える) 九州大学が伊都キャンパスに統合移転することで、教授等が有する研究成果やノウハウを前原市の課題解決や商品開発につなげられる。また、1万人に及ぶ学生・教職員が伊都キャンパスで生活することによる経済効果も多大なものであり、若い活力をまちづくりに活かせる千載一遇のチャンスだと認識している。新市においても、調査・検討をお願いしたい(市長答弁)



議会を見に来られませんか

次の市議会は6月1日～16日まで開催されます。今回私は6月12日に一般質問を行う予定です。
(午前の2番目・10時半～11時ごろ開始予定)
主な質問内容は以下のとおりです。

1. 低炭素化社会構築の具体的展開について。
2. 新経済対策に含まれている「スクール・ニューディール」構想について
3. 公園及び小学校の遊具について

市役所本館3階の議場に設置している受付簿に、住所・氏名を記入するだけで傍聴することができます。

皆様の来場をお待ちしております。



開会を待つ議場

(問い合わせ) 伊都国歴史博物館を核として、市民の生き様でもある広報誌を創刊号から最終号まで記録に留めたり、また糸島の方言や地域にまつわる伝説、各地の風景など、糸島地域における文化財をデジタルとして保存し、さらに全世界にミュージアムとして発信してみてはいかがなものか。

(答え)

「糸島デジタル・ミュージアム構想」については、合併を契機に「糸島市」

もつ沢山の素晴らしい考古・歴史・民俗資料等を収集・整理し、現在開設している伊都国歴史博物館のホームページを更に充実させていきたい。

(問い合わせ)

のもので、伊都国歴史博物館のホームページを更に充実させていきたい。

また、民話・方言・伝統芸能などの情報をわかりやすく発信し、糸島市に行つてみたい、見てみたいという人を増やし、地域活性化につながるよう、全力で取り組んでいきたい。(課長答弁)



©NEW KOMEITO

(問い合わせ) 光ファイバーを利用し、本府舎と二丈府舎などを「府内IP電話」内線通話を可能にできないか。また、会社や自宅で電子申請・届出や、公民館や体育館などの施設予約・情報提供がインターネットを介して実現

(回答) 合併時には住民サービスに支障をきたすことのないよう、本府舎と二丈府舎、志摩府舎を光回線でネットワーク化するとともに、公民館や図書館などの施設間も通信回線を使ってネットワーク化する計画である。(市長答弁)



(課長答弁)

(回答) 情報通信の光ファイバーの一部を利用することにより、音声型のネットワークを構築し、本府舎・二丈府舎及び志摩府舎間の内線化は可能。投資効果を見据えた高度な情報インフラを整備する必要があるのではないか。

(問い合わせ) 合併後の情報通信として、まずは糸島1市2町で情報格差をなくし、将来を見据えた高度な情報インフラを整備する必要があるのではないか。

(回答) 情報通信の光ファイバーの一部を利用することにより、音声型のネットワークを構築し、本府舎・二丈府舎及び志摩府舎間の内線化は可能。投資効果を見据えた高度な情報インフラを整備する必要があるのではないか。

できないか。

~皆様からの声をお待ちしています~



今回紙面に掲載できなかった項目に関しては、私のホームページに詳しく掲載しています。
アドレスは <http://www.sasagurisumio.com>
また、皆様からのご要望、ご相談も隨時受け付けております。
連絡先は092-322-9150 (FAX兼) E-mail : sasagurisumio@yahoo.co.jp
いつでも、お気軽にご連絡ください。



公明党の「今日を守り、明日を創る経済対策」



NEW KOMEITO

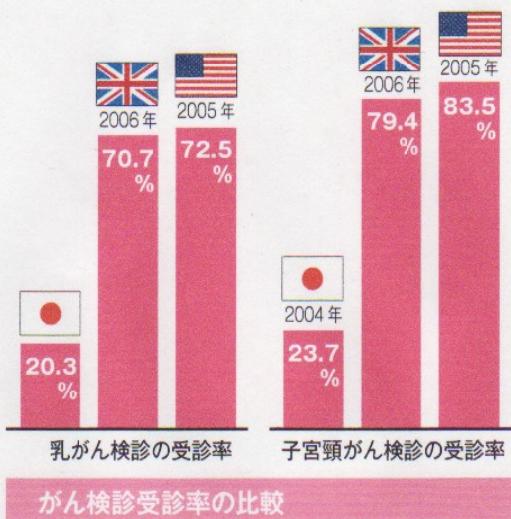
女性の健康を守ります

早期 発見すれば完治する可能性が高いことが
知られている子宮頸がんと乳がん。

しかし、その受診率は、英米の7~8割程度に比べ、
日本は2割台前半という極端に低い状況が続いてい
ます。

そこで女性特有のがん対策として、一定年齢に達し
た女性を対象に検診手帳の交付とともに、子宮頸が
んと乳がん検診の無料クーポンを配布します。

今回の対策によって、「政府のがん対策推進基本計
画」(07年6月)で検診受診率の目標として掲げてい
る「5年以内に50%以上」の達成に向け、大きな一歩
になると期待されます。



子宮頸がん、乳がん検診の 無料クーポンを配布

受診対象

子宮頸がんは

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性

乳がんは

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性

お問い合わせ | tel: 092-322-9150 前原市議会議員 ささぐり 純夫